

平成26事業年度

決算の概要

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

公立大学法人九州歯科大学

平成26年度決算の概要

I 貸借対照表

資産総額は、固定資産が174億4千7百万円、流動資産が7億4千7百万円の181億9千5百万円で、前年度に対して6億3千2百万円（3.3%）の減少となっています。主な要因は、減価償却（損益外減価償却費を含む）による減少（7億1千6百万円）、並びに備品等の取得による増加（5千4百万円）及び未収附属病院収入の増加（1千3百万円）によるものです。

資産のうち、有形固定資産が95.8%を占め、このうち県から出資を受けた土地・建物が165億1千7百万円で94.6%を占めています。

負債は、固定負債が8億5百万円、流動負債が4億8千3百万円の総額12億8千8百万円で、前年度に対して1億4千7百万円（10.2%）の減少となっています。主な要因は、資産見返負債の減少（5千7百万円）、運営費交付金債務の減少（2千9百万円）、未払金の減少（2千9百万円）、長期リース債務の減少（2千2百万円）及び預り金の減少（1千3百万円）によるものです。

なお、資産見返負債（注1）が7億3千2百万円と負債総額の56.8%を占めており、また、流動負債では、未払金が3億3千1百万円と68.5%を占めています。

純資産の部の総額は、169億6百万円で、前年度に対して4億8千4百万円（2.7%）の減少となっています。その主な要因は、県から出資された建物の減価償却等による損益外減価償却費（注2）が5億3千7百万円増加したこと及び利益剰余金が5千2百万円増加したことによるものです。

（単位：百万円）

資産の部	25年度	26年度	増減	負債の部	25年度	26年度	増減
固定資産	18,108	17,447	▲ 660	固定負債	885	805	▲ 79
有形固定資産	18,101	17,443	▲ 657	資産見返負債	789	732	▲ 57
(土地)	2,031	2,031	0	長期リース債務	95	73	▲ 22
(建物)	15,026	14,486	▲ 539	流動負債	551	483	▲ 67
(構築物)	330	317	▲ 12	運営費交付金債務	39	9	▲ 29
(工具器具備品)	113	89	▲ 23	寄付金債務	64	64	0
(医療用工具器具備品)	272	214	▲ 57	預り科学研究費補助金等	14	16	2
(リース資産)	119	93	▲ 25	預り金	39	26	▲ 13
(図書)	185	187	1	前受受託研究費	3	4	1
(美術品)	22	22	0	前受共同研究費	1	2	0
無形固定資産	6	4	▲ 2	前受金	0	1	0
流動資産	719	747	27	未払金	360	331	▲ 29
現金及び預金	554	562	7	リース債務	24	22	▲ 2
未収学生納付金収入	0	0	0	未払消費税等	1	4	2
未収附属病院収入	144	157	13	負債合計	1,436	1,288	▲ 147
その他の未収入金	1	9	8	純資産の部	25年度	26年度	増減
たな卸資産	1	1	0	資本金	19,679	19,679	0
医薬品及び診療材料	17	15	▲ 2	資本剰余金	▲ 2,295	▲ 2,832	▲ 537
				利益剰余金	7	59	52
資産合計	18,828	18,195	▲ 632	純資産合計	17,391	16,906	▲ 484
				負債純資産合計	18,828	18,195	▲ 632

注) 表示単位未満については切捨て表示しています。

注1 資産見返負債とは固定資産を取得した場合に相当する財源を振り替え、当該資産が費用化（減価償却費）される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

注2 県から出資された教育・研究・診療用の建物は、減価償却費に見合う収益の獲得が見込めないことから、減価償却処理を損益計算書に反映させず、損益外減価償却費として資本剰余金から控除する取扱いになっています。

II 損益計算書

経常費用は、業務費が31億8百万円、一般管理費が3億3千万円、財務費用が2百万円等の総額34億4千2百万円で、前年度に対して4千万円（1.1%）の減少となっています。その主な要因は、診療経費、職員人件費、教員人件費、及び研究経費の減少によるものです。

なお、業務費において大きな割合を占めているのが教員人件費（41.1%）となっています。また、一般管理費において大きな割合を占めているのが、施設維持管理にかかる報酬・委託・手数料（1億1千6百万円）となっています。

経常収益は、運営費交付金収益が16億2千8百万円、附属病院収益が10億5千3百万円、授業料・入学金・検定料の学生等納付金収益が4億7千3百万円等の総額34億9千4百万円で、前年度に対して1億4千6百万円（4.3%）の増加となっています。その主な要因は、運営費交付金収益、寄附金収益、入学金収益、及び附属病院収益の増加並びに補助金収益、資産見返負債戻入の減少によるものです。

（単位：百万円）

費用の部	25年度	26年度	増減	収益の部	25年度	26年度	増減
経常費用	3,483	3,442	▲40	経常収益	3,348	3,494	146
業務費	3,180	3,108	▲71	運営費交付金収益	1,509	1,628	118
教育経費	179	185	6	授業料収益	398	398	0
研究経費	191	182	▲8	入学金収益	59	65	5
診療経費	712	687	▲25	検定料収益	10	10	0
教育研究支援経費	43	40	▲3	附属病院収益	1,049	1,053	4
受託研究費	6	6	0	受託研究等収益	7	7	0
役員人件費	37	40	2	補助金収益	92	86	▲5
教員人件費	1,299	1,279	▲20	寄付金収益	46	72	26
職員人件費	709	686	▲22	その他の業務収益	0	0	0
一般管理費	300	330	30	資産見返負債戻入	117	112	▲5
財務費用	1	2	0	財務収益	0	0	0
雑損	0	0	0	雑益	57	58	0
臨時損失	1	1	0	臨時利益	0	2	1
				当期純利益	▲135	52	188
				目的積立金取崩額	140	0	▲140
				当期総利益	4	52	48

注) 表示単位未満については切捨て表示しています。

上記費用及び収益に係る増減理由により、収益から費用を差し引いた差額である当期純利益は5千2百万円で、前年度に対して1億8千8百万円増加しています。

また、当期総利益は5千2百万円で、前年度に対して4千8百万円増加しています。